

## 一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令試験問題

下記の問題は一般旅客自動車運送事業に関する記述です。  
正しいものには○、誤っているものには×を回答欄に記入して下さい。  
また、( ) 内にあてはまる語句を、下のA, B, Cから選んで回答欄に記号で記入して下さい。

1. 道路運送法は、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとすることを目的としており、利用者の利益の保護・増進は目的としていない。

**道路運送法第1条** 回答 ( × )

2. 道路運送法の一般貸切旅客自動車運送事業は、一個の契約により乗車定員11人以上の自動車を貸し切って旅客を運送する事業である。

**道路運送法第3条** 回答 ( ○ )

3. 旅客自動車運送事業を営もうとする者は、都道府県知事の登録を受けなければならない。

**道路運送法第4条** 回答 ( × )

4. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可の更新の申請があった場合において、有効期間の満了の日までにその申請の処分がなされないときは、従前の一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、有効期間の満了後もその処分がなされるまでの間は、なおその効力を有する。

**道路運送法第8条** 回答 ( ○ )

5. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客の運賃及び料金の上限を定め、国土交通大臣の認可を受けなければならない。

**道路運送法第9条の2** 回答 ( × )

6. 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、收受した運賃又は料金の割戻しをしてはならない。

**道路運送法第10条** 回答 ( ○ )

7. 一般貸切旅客自動車運送事業の運送約款には、運賃及び料金の收受並びに事業者の責任に関する事項を定める必要はない。

**道路運送法第11条** 回答 ( × )

8. 一般旅客自動車運送事業者は、通常、運送の申込みを受けた順序で旅客の運送を行わなければならない。

**道路運送法第14条** 回答 ( ○ )

9. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、営業所ごとに配置する事業用自動車の数を変更したときは、遅滞なく、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。

**道路運送法第15条** 回答 ( × )

10. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、営業区域外旅客運送をしてはならないことから、発地及び着地のいずれもがその営業区域内に存する旅客の運送しかすることができない。

**道路運送法第20条** 回答 ( × )

- 1 1. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、安全統括管理者を選任し、輸送の安全の確保に関し、その職務を行う上での意見を尊重しなければならない。

**道路運送法第22条の2**

回答 ( ○ )

- 1 2. 貸切バスの営業所が複数ある場合、本社に統括する運行管理者を配置すると、営業所ごとに運行管理者を選任する必要はない。

**道路運送法第23条**

回答 ( × )

- 1 3. 貸切バスが車両火災を引き起こした場合、旅客に被害がなければ事故報告は必要ない。

**道路運送法第29条**

回答 ( × )

- 1 4. 一般旅客自動車運送事業者は、特定の旅客に対し、不当な差別的取扱いをしてはならない。

**道路運送法第30条**

回答 ( ○ )

- 1 5. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業の貸渡契約を締結すれば、一般貸切旅客自動車運送事業を他人にその名において経営させることができる。

**道路運送法第33条**

回答 ( × )

- 1 6. 一般貸切旅客自動車運送事業の譲渡及び譲受を行う場合は、国土交通大臣に届け出なければならない。

**道路運送法第36条**

回答 ( × )

- 1 7. 一般貸切旅客自動車運送事業者が許可に付された条件に違反したときは、許可の取り消しを受ける場合がある。

**道路運送法第40条**

回答 ( ○ )

- 1 8. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業に使用する自動車の外側に、使用者の氏名、名称又は記号のほか、「貸切」と表示しなければならない。

**道路運送法第95条、道路運送法施行規則第65条**

回答 ( ○ )

- 1 9. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送を引き受けた場合には、当該運送の申込者の任意により、運送引受書を交付することができる。

**旅客自動車運送事業運輸規則第7条の2**

回答 ( × )

- 2 0. 旅客自動車運送事業者は、運転者の酒気帯びの有無の確認のためにアルコール検知器を用いる必要があるが、アルコール検知器が故障してしまった場合はこの限りではない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第24条**

回答 ( × )

21. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の運行距離等を運行記録計により記録しなければならない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第26条** 回答 (○)

22. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、必要に応じ、運行の主な経路における道路及び交通の状況を事前に調査することができる。

**旅客自動車運送事業運輸規則第28条** 回答 (×)

23. 貸切バスの運転者は、乗務中は運行指示書を携行しなければならない。また、運行指示書は運行の開始の日から一年間保存しなければならない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第28条の2** 回答 (×)

24. 事業者は、五十五才以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければならない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第38条** 回答 (×)

25. 旅客自動車運送事業者は、毎年12月31日までに、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報であつて国土交通大臣が告示で定める事項について、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。この場合において、旅客自動車運送事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、遅滞なく、その内容を国土交通大臣に報告しなければならない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7** 回答 (×)

26. 旅客自動車運送事業者は、運行管理規程を国土交通大臣あて届け出なければならない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第48条の2** 回答 (×)

27. 一般貸切旅客自動車運送事業者は運行管理者を選任した場合に届け出なければならないが、運行管理者を補助する者を選任した場合はこの限りではない。

**旅客自動車運送事業運輸規則第68条** 回答 (×)

28. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、運行の安全面のポイントを分かりやすく示すことにより、単純な価格比較のみで選ぶのではなく、より安全にも留意した選定を促すことを目的としている。

**輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン** 回答 (○)

29. 1日についての拘束時間は、14時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は、16時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は、1週間について2回以内とすること。

**自動車運転者の労働時間等の改善のための基準** 回答 (×)

30. 一般貸切旅客自動車運送事業者が使用する自動車が5人以上の重傷者を生じる事故を引き起こした場合は、24時間以内においてできる限り速やかにその事故の概要を運輸支局長等に速報しなければならない。

**自動車事故報告規則** 回答 (○)

31. 「旅客自動車運送事業」とは、( ) に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。  
A. 自己の目的 B. 自治体等の要請 C. 他人の需要  
**道路運送法第2条** 回答 ( C )
32. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、その事業を休止又は廃止しようとするときは、その( ) 日前までに届け出なければならない。  
A. 30 B. 60 C. 90  
**道路運送法第38条** 回答 ( A )
33. 旅客自動車運送事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して( ) 保存しなければならない。  
A. 6か月間 B. 1年間 C. 3年間  
**旅客自動車運送事業運輸規則第3条** 回答 ( B )
34. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が乗務したときは、運転者名、乗務の開始及び終了の地点及び日時等のほか、( ) を運転者ごとに記録させなければならない。  
A. 旅客の氏名 B. 旅客の数 C. 旅客が乗車した区間  
**旅客自動車運送事業運輸規則第25条** 回答 ( C )
35. 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を( ) 選任しておかななければならない。  
A. 常時 B. 必要に応じ C. 需要の繁閑に応じ  
**旅客自動車運送事業運輸規則第35条** 回答 ( A )
36. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者ごとに、一定の様式の( ) を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかななければならない。  
A. 履歴書 B. 乗務員台帳 C. 乗務員証  
**旅客自動車運送事業運輸規則第37条** 回答 ( B )
37. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を( ) しなければならない。  
A. 常に清潔に保持 B. 可能な限り清潔に C. 運行のたびに清潔に  
**旅客自動車運送事業運輸規則第44条** 回答 ( A )
38. 一般貸切旅客自動車運送事業者に用いる事業用自動車は、( ) ごとに定期点検整備を実施しなければならない。  
A. 1ヶ月 B. 3ヶ月 C. 6ヶ月  
**道路運送車両法第48条** 回答 ( B )
39. 旅客自動車運送事業者は、輸送実績報告書を毎年( ) までに行政庁に提出しなければならない。  
A. 4月30日 B. 5月31日 C. 6月30日  
**旅客自動車運送事業等報告規則** 回答 ( B )
40. 旅客自動車運送事業者は、事業年度の経過後、( ) 日以内に「事業報告書」を行政庁に提出する義務がある。  
A. 50 B. 100 C. 150  
**旅客自動車運送事業等報告規則** 回答 ( B )

【事業者名： 役職： 氏名： 】